

2009.10.15

Contents

集成材
～エンジニアリング
ウッドという建材

住まいは住まい
住まい文化の葉
キナナルマドリ
住健住康
HABITAな風景
Green Earth

このほど、09年度グッドデザイン賞（主催：財団法人日本産業振興会）が発表され、HABITAの平屋モデル「SORA・MADO さんぶ」がGマークを受賞しました。HABITAにとって昨年度に続き2年連続の受賞となりましたが、とくに「SORA・MADO」は昨年度も2階建てタイプがGマークに選定されており、HABITAを代表する住宅としてますます脚光を集めます。

09年度は「SORA・MADO さんぶ」が受賞

08年度のグッドデザイン賞において、HABITAは初応募にして「岩瀬牧場」と「SORA・MADO」がW受賞するという栄誉に輝きました。審査員からは、「単純化された外観のもつ強い図像性は見飽きられることなく、無駄なものがない良質



な空間と素材は時代を経ても変わらない感覚、すなわち五感で感じる心地よさを問いかけてくる」（岩瀬牧場）、「中庭に面した大きな窓からは、空や風を身近に感じられそう

だ。木造真壁で骨太な素材を現した空間は、物理的にも実用的にも、そして流行にも流されない長寿命な家づくりを目指している」（SORA・MADO）と講評され、HABITAの

HABITAが2年連続Gマークを受賞 HABITAのデザインに高い評価

Weekly HABITA⁰¹³

家づくりにとって大きな自信となりました。

そして、今年度のGマークに「SORA・MADO さんぶ」が選定されました。

08年9月、さんぶの杜で行った「200年住宅発表会」での来場者アンケートでは、男女ともに一番の人気を集めていました。

建て方はもっとも贅沢である平屋にして、細かい部屋割りをせず、空間としての気積を増やすことを考えてデザインしています。

家の中は、ほとんどどの場所においても視線を遮られることはありません。視線が通るということは、そのまま太陽の光も通るとのことなのです。

審査員からの講評では、「平屋であるメリットを生かして、天井が高くかつ明るい室内が実現されている。部屋の雰囲気も木の質感に満ち、北欧的な魅力のある住宅としてまとまっている。落ち着いた外観も評価できる」との評価を得ました。

超長期住宅モデルも評価のポイントに

「SORA・MADO さんぶ」の応



募にあたっては、こうした独自のデザインに加え、①国産材が使われていること、②断面の大きな材であること、③しっかりと乾燥された材であること、④木材が「現し」で使われていること、⑤柱・梁が規則正しく並べられ、再生利用が容易になっていること—という、日本の古民家に学ぶ家づくりをコンセプトとした超長期住宅モデルであることもアピールし、これも評価のポイントとなりました。

昨年度と大きく違う点は、審査内容に地球環境への取り組み内容の項目が多く見られたことです。

住宅そのものの環境対策としては、日本の環境の根幹である樹木生長を鑑み、住宅の長期耐用に対して真剣に取り組むことが最初の解決すべき課題であると提言してきました。樹木は貴重な地球環境の資源であり、その意味でのテーマとして



「200年住宅」が挙げられます。

地球環境という項目を重要視している背景には、あらゆる「もの」の寿命を永くしてゆくということが地球資源や環境の保護に役立つということ。それだけではなく、それを使う人の心をより豊かに育むというコンセプトがあります。Gマークの審査の中でも、こうした環境への取り組みをしっかりと評価する時代になってきました。

「SORA・MADO さんぶ」概要

- 延床面積：34坪（112.5坪）
- デザインディレクター：MISAWA・international（株） 常務取締役 北川敏明
- デザイナー：アトリエSORA・井内清志